

気候 危機

「いますぐ行動を」

世界で若者が気候アクション

「環境破壊をやめろ」「気候ではなく、システムを変えろ」——若者団体「フライデーズ・フォー・フューチャー(未来のための金曜日=FFF)」などがよびかけ、9月23日に世界各地でいっせいに行動。各国のリーダーに本気の気候変動対策をもとめました。

日本でも東京、仙台、京都、岡山など各地で、気候マーチやスタンディングなどにとりくみました。

ベルリンで行われたFFFのデモ行進に参加した人たちは9月23日(ロイター/アフロ)



先住民を先頭に、気候変動対策をもとめて行進する若者たち=9月23日、ニューヨーク(石黒みずほ撮影)



ジェンダー 平等

「安全な中絶は 人権だ」

リプロダクティブ・ヘルス&ライツ
(性と生殖に関する健康と権利)

安全な人工妊娠中絶を選ぶ権利を保障するようもとめる「国際セーフ・アポーション(安全な中絶)・デー」として9月28日、欧米各国をはじめ、世界中で統一行動がおこなわれました。

国際デー 各地で行動



「#もっと安全な中絶をアクション」が、国際デーの記念イベント「中絶について声をあげよう!」を開催。中絶に配偶者の同意を必要とする母体保護法の見直しや、墮胎罪の廃止をもとめていくことを確認しました。リレートークで、日本共産党の田村智子政策委員長が発言しました=9月28日、東京都内



「中絶は人権だ」「全国で中絶合法化を」と訴える人たちは9月28日、アメリカ・フィラデルフィア(石黒みずほ撮影)

